

コード	205010103
記入日	H21.6.8

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	青崎真樹

作成年度	平成 21 年度
------	----------

事務事業事後評価表

評価対象事業名称	町道大曾横崎線改良事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	2
基本事業コード	20501	基本事業名称	防災対策の充実	目コード	3
事務事業コード	2050101	事務事業名称	石油立地交付金事業費(道路)	細目コード	417
関連計画	新上五島町振興計画		法令・条例規則等	道路法	

計画 (PLAN)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。						
対象:誰、何を対象にしているのか			対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1) (対象2)			(対象指標1) (対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****		改良延長L=628.0m 幅員W=3.9~10.1m 事業費C=18,638千円 舗装工A=2,953㎡ 排水工L=553m 法面工A=439㎡	*****	*****	*****	改良延長÷計画延長	*****	
			整備延長	628.0m	100%		平成20年度	
			①	(達成率分析) 計画どおり達成できた。				
			②	(達成率分析)				
目的:何をしたいのか			成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
本路線は石油備蓄基地での有事に際し、横崎地区住民の避難及び緊急車両の進入、防災活動等に極めて重要な役割を担う唯一の道路であるが、現状はアスファルト路面の亀裂等劣化が著しい状況である。道路を改良することにより、地区住民の安全な避難路を確保するものである。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
			*****	*****	*****	実施事業費÷計画事業費	*****	
			進捗率	18,638千円	100%		平成20年度	
			①	(達成率分析) 計画どおり達成できた。				
			②	(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画
活動指標	① m	628.0	628.0		628.0
	②				
成果指標	① %	100	100		100
	②				
総事業費C (A+B)		千円	18,837	20,038	18,837
直接事業費 A		千円	17,437	18,638	17,437
人件費 B		千円	1,400	1,400	1,400
内訳	従事職員数	人	0.2	0.2	0.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	17,437	18,630	17,437
	県補助金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
一般財源		千円	1,400	1,408	1,400

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の安全性及び利便性については、普遍的なものであり行う必要がある。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の利用者とすることで適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の利便性及び安全性が確保された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	計画どおり実施された。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	道路の利便性及び安全性が確保できない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっておりできない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	道路管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点
	なし
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 計画どおり目的を達成した。
2次評価	道路環境整備は、地域住民の安全・安心を確保するもの、今後も地域の意見を把握しながら、また道路管理責任を果たすものとして、計画的な道路整備を進めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。